



第1回 fib 大阪コンgress 2002 開催まで、あと



ヵ月

fib 大阪コンgress 2002 の企画行事について

宮川 豊章*

1. 企画行事部会について

10月13日から19日まで大阪国際会議場で開催される fib 大阪コンgress 2002 において、登録、バンケット、テクニカルツアー、同伴者ツアー、ポストコンgress ツアー、会場設営、昼食など学術部会、広報部会以外のコンgress 全体の企画、運営をする組織として、実行委員会内に企画行事部会が組織されている。

本部会は業務内容が広範囲にわたること、会議の開催地である大阪の情報を的確に入手する必要があること、および会議開催期間中、多数の人材を必要とすることなどの理由から開催地である関西を中心に組織されている。また、業務内容により「登録 WG」、「行事 WG」、「ツアー・宿泊 WG」、「会場 WG」、「サービス WG」に分担して活動を行っている（図-1 参照）。

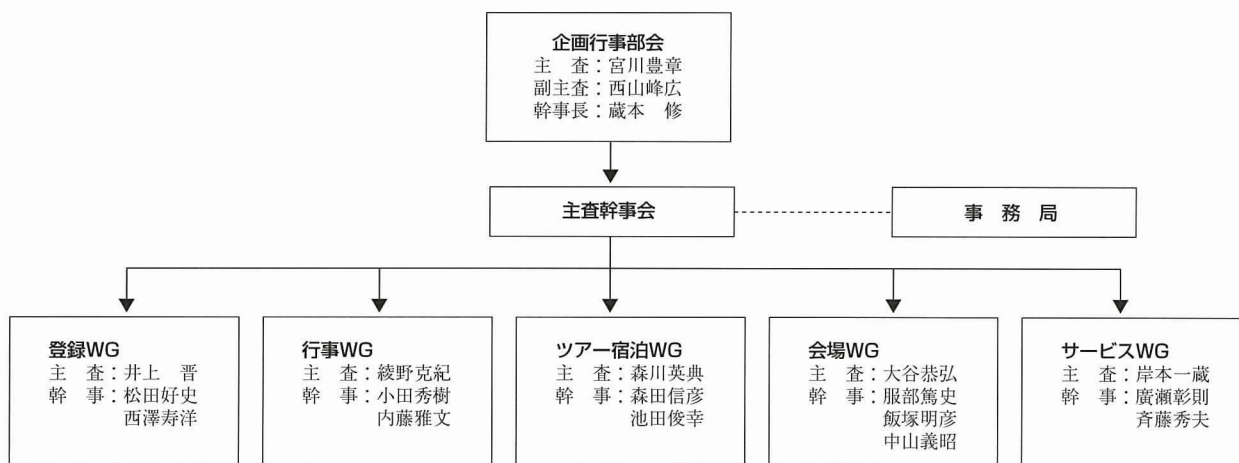


図-1 企画行事部会組織図

具体的には本部会の主査である筆者の他に FIP 94 京都シンポジウムの際、企画に参加された京都大学西山助教授を副主査に、関西の PC 業界において活躍されている蔵本氏に幹事長をお願いしている。また各委員は前述したように関西を中心とした、国交省、公団、地方自治体、大学関係、PC、ゼネコン、コンサルタントにおいてコンクリートに深く関わっておられる土木、建築、セメントの方々から構成

されている。また、本部会で特筆すべきことは、同伴者に関するプログラムをより魅力的な企画にするため、女性委員にも参加していただいていることである。なお、委員が多いことや活動の中心が関西であることにより情報が分散しないように、企画行事部会内にも事務局も設置している。本部会の委員を表-1に示すが、総勢60名あまりの委員が今秋のコンgress開催に向けて活発な活動を行っている。以下、各WGの活動内容の概要を紹介する。

2. 各WGの活動内容

(1) 登録WG

登録WGの主な業務は会議参加者の事前登録および会議開催中の受付である。登録の種類として一般参加者、同伴者、学生、1日参加などがある。これ以外にツアーやバンケットの参加、論文集の追加購入も受け付けている。本コンgressの事前登録は既に始まっており、最終的には1500



* Toyooki MIYAGAWA

fib 2002 実行委員会 委員
企画行事部会 主査
京都大学大学院 工学研究科
土木工学専攻 教授

表-1 企画行事部会委員

企画行事部会		
主 査	宮川 豊章	京都大学大学院
副主査	西山 峰広	京都大学大学院
幹事長	蔵本 修	(株)ピー・エス
事務局	辻 恵子	(株)ピー・エス

登録WG		
主 査	井上 晋	大阪工業大学
幹 事	松田 好史	西日本旅客鉄道(株)
幹 事	西澤 寿洋	(株)日本構造橋梁研究所
委 員	高木 宣章	立命館大学
委 員	西野 直均	近畿地方整備局
委 員	北村 八郎	大阪ガス(株)
委 員	葛目 和宏	(株)国際建設技術研究所
委 員	森本 克秀	(株)奥村組
委 員	角 彰	(株)竹中工務店
委 員	角谷 竜二	東洋建設(株)

行事WG		
主 査	綾野 克紀	岡山大学
幹 事	小田 秀樹	復建調査設計(株)
幹 事	内藤 雅文	鹿島建設(株)
委 員	上田 隆雄	徳島大学
委 員	山脇 正史	(株)長大
委 員	森高 英夫	(株)安井建築設計事務所
委 員	室田 敬	住友建設(株)
委 員	小林 茂広	住友大阪セメント(株)
委 員	深野 慶	(株)大林組
委 員	西村 勝	川田建設(株)

会場WG		
主 査	大谷 恭弘	神戸大学
幹 事	服部 篤史	京都大学大学院
幹 事	飯塚 明彦	ピーシー橋梁(株)
幹 事	中山 義昭	(株)大林組
委 員	大江 一也	関西電力(株)
委 員	福井 淳太	大阪府
委 員	北村 昭二	兵庫県
委 員	益尾 潔	(株)日本建築総合試験所
委 員	若杉 三紀夫	住友大阪セメント(株)
委 員	渡邊 繁	(株)近代設計
委 員	太田 寛	(株)鴻池組

ツアー宿泊WG		
主 査	森川 英典	神戸大学
幹 事	森田 信彦	(株)オリエンタルコンサルタンツ
幹 事	池田 俊幸	極東工業(株)
委 員	内田 裕市	岐阜大学
委 員	安川 義行	日本道路公団
委 員	北口 雅章	本州四国連絡橋公団
委 員	宮口 智樹	阪神高速道路公団
委 員	北後 征雄	ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
委 員	大前 博	大成建設(株)
委 員	小倉 正恒	清水建設(株)
委 員	坂田 博史	フドウ建研(株)
委 員	池口 貴子	(株)国際建設技術研究所
委 員	辻井 昌子	(株)国際建設技術研究所
委 員	藤井 悦子	
委 員	山崎 佳子	東京大学大学院
委 員	渡邊 幸子	

サービスWG		
主 査	岸本 一藏	大阪大学大学院
幹 事	廣瀬 彰則	中央復建コンサルタンツ(株)
幹 事	斉藤 秀夫	オリエンタル建設(株)
委 員	五十嵐 心一	金沢大学
委 員	高岡 佳輝	近畿地方整備局
委 員	黒山 泰弘	大阪府
委 員	阿波野 昌幸	(株)日建設計
委 員	仁山 康史	八千代エンジニアリング(株)
委 員	池尾 孝司	(株)鴻池組
委 員	渡辺 勲	大成建設(株)
委 員	辻 幸二	鹿島建設(株)
委 員	鈴木 宏信	(株)中研コンサルタント
委 員	寺口 秀明	(株)日本ピーエス

人以上の参加者を予定している。なお、登録に関する詳細はホームページ (<http://www.fib2002.com/>) を参照していただきたい。

登録WGの現在の課題は、事前登録の際(とくに海外からの登録)に生ずるイレギュラーケースに的確に対応すること、および、開会式直前に集中することが予想される会議参加者の受付を迅速に処理することである。前者の課題に対しては基本的なルールを決め、このルールに則して個別に対応している。また、後者の課題に対しては現在WG内で詳細な検討を行っているが、登録デスクは開会式の前々日からオープンする予定なので、会議参加者はできるかぎり前日に登録をしていただければ混雑を避けられると考えており、ご協力いただければ幸いである。

(2) 行事WG

行事WGはウェルカムレセプションやバンケットなどの特別プログラム、および会議の開会式、閉会式などのセレモニーの企画、運営を担当している。

ウェルカムレセプションは立食によるパーティー形式、バンケットは1000人規模の着席によるディナー形式で計画している。いずれも大阪国際会議場に隣接するリーガロイヤルホテルで開催する予定である。なお、ウェルカムレセプションは会議参加者であれば自由に参加していただけるが、バンケットは準備の関係上、事前に予約をしていただくことにしている。

一方、開会式や閉会式はFIPの伝統を受け継ぐ中にも新生fibとしての斬新さを表現できるように現在その詳細を企画中である。

(3) ツアー宿泊WG

ツアー宿泊WGは会議開催中に計画されているテクニカルツアーと同伴者ツアー、および、会議終了後に出発するポストコングレスツアーの企画、実施を担当している。また、会議開催中の宿泊設備の案内、予約も本WGの業務である。

テクニカルツアーは会議2日目(10月15日)の午後から半日の行程を予定している。この時は他の学術セッションを行わず、テクニカルツアーに参加しやすいようにプログラムされている。テクニカルツアーは京阪神地区の橋梁3コース、建築物1コース、トンネル1コースの計5コースを計画しており、橋梁の3コースはPC橋、鋼橋、複合

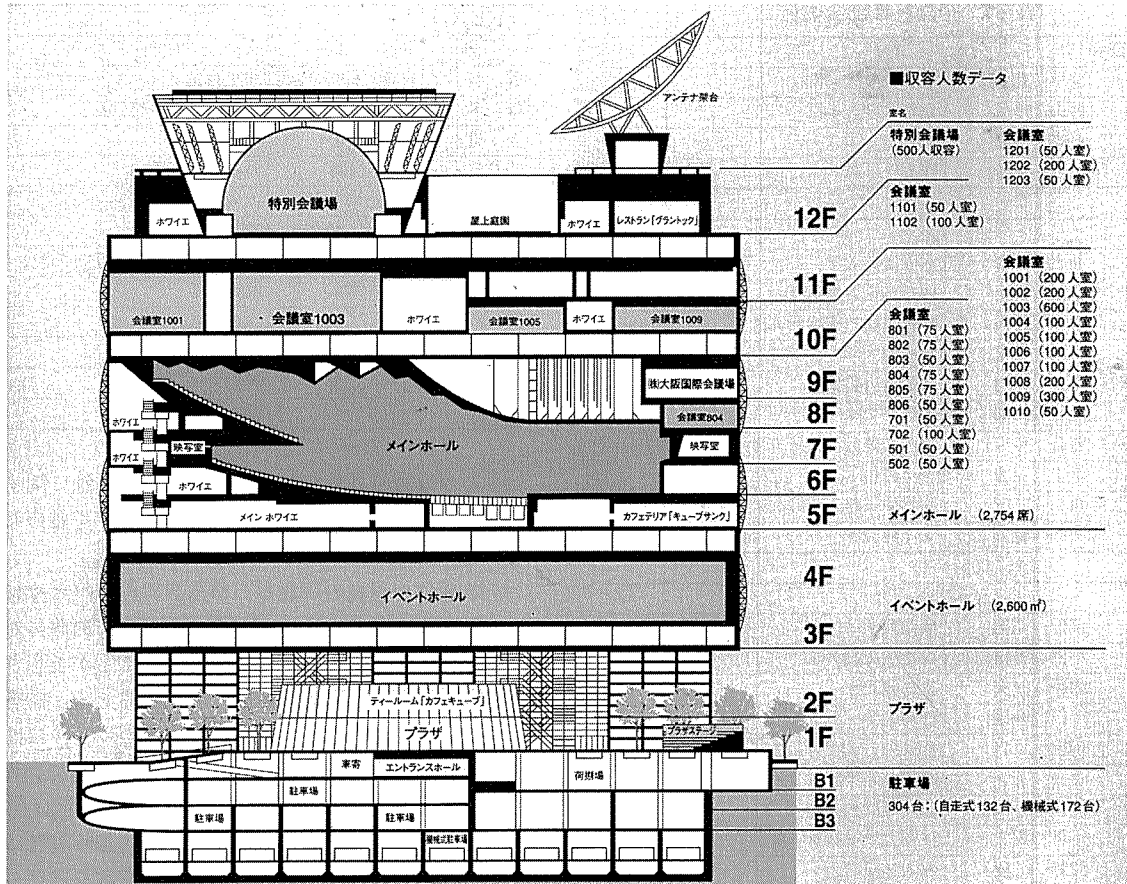


図-2 大阪国際会議場

橋となっている。また、コースの中には1995年の阪神淡路大震災の復旧構造物を視察していただくことも計画しており、バラエティーに富んだコース設定となっている。

ポストコンGRESSツアーは閉会式の翌日(10月19日)から2泊3日の予定で、大阪を中心に西方面(岡山、広島、四国)、東方面(名古屋、岐阜)、南方面(和歌山、奈良)の3コースを計画している。いずれのコースも観光と視察をバランス良く組み込んでおり、会議後の良き思い出として満足していただけるよう、その詳細を企画中である。

一方、関西地方は日本文化財の宝庫であり、同伴者ツアーはこれら的一端に触れていただく京都、奈良へのコースや近代的な大阪、神戸を体験していただくコースなどを用意している。

すべてのツアーは予約の関係上、事前に申し込みしていただくようお願いしている。

(4) 会場WG

会場WGは会議期間中のセッション会場をはじめ各種fib委員会会場などの計画、および各会場内に配置する人材、機材の確保、管理を担当している。大阪国際会議場は図-2に示すように12階建てで、会議開催中は全館を利用する予定である。テクニカルセッションの中心となる10階、総合受付の5階、開会式など式典の行われるメインホール、そして技術展示の会場は3階のイベントホールである。各会場への移動は会場内のエレベーターやエスカレーターが主になるが、会議参加者がスムーズに移動できるよう、わか

りやすい会場案内図や誘導看板を計画中である。また、テクニカルセッションの発表方法としてはプロジェクター、スライド、OHPのいずれにも対応できるように準備を進めているが、サーキュラー等にもご案内しているようにプロジェクターによる発表を推奨している。

一方、会場WGの最大の課題は会議開催期間中における多数の会場と機材の管理、運営方法である。これについては現在検討中であるが、いずれの管理方法を用いても当日の運営には多くの人材を必要とすることは明らかである。今後、大学や企業の方々のご協力を是非お願いしたいと思っている。

(5) サービスWG

サービスWGは会議開催期間中、会議参加者が快適に過ごせるような企画を担当している。具体的には昼食や休憩中のドリンクサービス、観光情報案内、OAルーム、クローク、宅配サービスなどである。

昼食は技術展示会場であるイベントホール(3階)にて、ビュッフェ方式とし、会議参加者が毎日の昼食を楽しみにしていただけるような内容を企画中である。また、国際会議では一般的なベジタリアンへの対応も予定している。

そのほか、会議参加者がリラックスした雰囲気の中で交流できるような種々の企画を準備中である。

3. おわりに

企画行事部会は総勢 60 名あまりの委員から組織されているため、全員による会議は部会発足時とコンgres開催直前の 2 回で考えている。実質的な活動は各 WG の主査および幹事による主査幹事会と各 WG をほぼ毎月 1 度開催し、和やかな中にも真剣な議論を活発に行っている。(写真 - 1 参照) ただ、各委員は各々の組織の中心の方々であり、多忙の方がほとんどである。そのため、主査幹事会や WG の開催日程を調整することが難しく、ほとんどの会議が夕刻からの開催となっている。したがって、会議終了が深夜近くなることもしばしばであるが、それでも、各委員は「自分たちがこのコンgresを成功させる」という自負を持ち、積極的に意見を交換していただいている。

最後に、コンgres開催まであと 5 ヶ月になった現在、企画行事部会の業務は益々繁忙を極めるようになってきた。それでも、各委員の惜しめない努力と団結力によって必ず本コンgresを成功に導くことができるものと信じている。

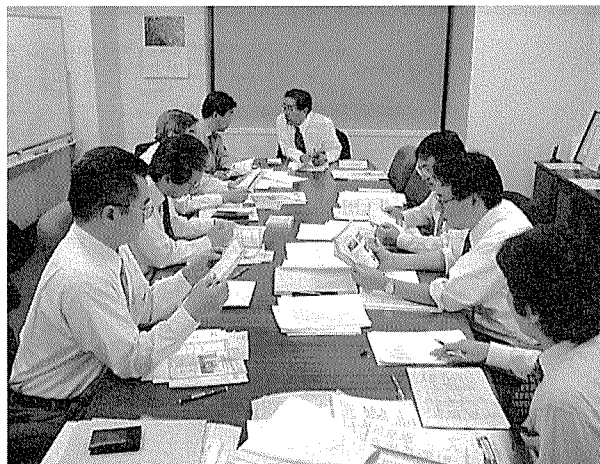


写真 - 1 WG 風景

最高のホスピタリティーと関西特有のユーモア（優しさ）を持って会議参加者を心からお待ち申し上げます。

【2002 年 4 月 9 日受付】



刊行物案内

プレストレストコンクリートの 新たな発展 - 21 世紀 -

第 30 回 PC 技術講習会

(平成 14 年 2 月)

頒布価格 (会 員) : 5,000 円 (送料 500 円)

(非会員) : 6,000 円 (送料 500 円)

社団法人 プレストレストコンクリート技術協会